

あと250日 相川祭り

相川
相川の総鎮守、善知鳥神社の祭礼である相川祭りが10月19日に行われ、太鼓、豆まき、獅子舞、下り羽、そして神輿が町内各地を回りました。



▲豆まき

▲神輿渡御

祭りが最高潮に達したのは、天候通りでの太鼓組と神輿のぶつかり合いです。太鼓組が待ちかまえるところに、法橋貝の響きに先導された神輿がやってくると、周りの観客の興奮も最高に高まり、降りしきる雨を吹き飛ばすほどに大いに盛り上がりました。

あと250日 佐和田



佐渡の魅力再発見! ～佐和田中学校総合学習～

10月19日(木)、佐和田中学校で総合学習が行われました。総合学習は、生徒自らがテーマを選び、選んだテーマについて探求するものです。

生徒は「佐渡の民話」や「市町村合併」など佐渡に関するテーマで、図書館や市役所佐和田支所を訪れ、積極的にテーマに取り組んでいました。



▲熱心に話し聴く生徒たち

佐渡の民話について調べる班では、講師の夏目修さんが民話の調べ方や民話の特徴などを生徒と一緒に話していました。身近なことに関心をもち、自分で答えを見つかる総合学習ですが、何よりも生徒自身が「総合学習はおもしろい」と言っていたのが印象的でした。

あと250日 たすきにける思い 新穂地区駅伝競争大会

10月24日(日)、第25回新穂地区駅伝競争大会が開催されました。37チーム、214人の選手は新穂地区内17.8キロメートルを一般男子の部45区間、女子・社年・中学の部は16区間に分かれて駆け抜けました。集落や農道で結成したチーム、学校のPTAチーム、先生チーム、そして中学生チームがそれぞれの思いをたすきでつなぎ、沿道の観衆からは大きな拍手と声援が湧きあがりました。

毎年中学生駅伝部と接戦の末敗れてきた青木チームは、11年ぶりに本大会を制し、数喜の酒に酔いしれました。



あと250日 第24回 赤泊人生駅伝大会

赤泊
10月11日(日)の体育の日に赤泊人生駅伝大会が開催され、地区対抗の部7チーム、オープン参加14チーム、総勢133人が参加しました。

5地区対抗の部では、小学生からスタートし、社年まで7人の選手が秋晴れの浜海岸線を、タスキをつなぎ、ゴールを目指し力走しました。今年度は徳和ワイルドリーチームが優勝し、オープン参加の部では、区間新記録が抜出した赤中バスケット部が大会新記録で優勝し、激しい拍手が送られました。



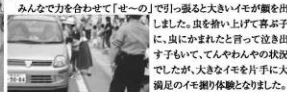
←一斉にスタート

あと250日 イモ掘り体験



▲力を合わせて うん!とこし!

10月25日(日)、新穂1キッズ保育園の3歳児が秋の味覚サツマイモの収穫を行いました。「空と水、そして太陽の光を栄養にして育ちます。」という説明はそっちのけで、園児は目の前にあるイモ畑に興味津々のようでした。



▲大きなおイモがとれたよ

みんなで力を合わせて「せーの!」で引っ張ると大きいイモが喜ぶ子に、虫にかまれたと言った泣き出す子もいて、てんやわんやの状況でしたが、大きなイモを片手に大満足のイモ掘り体験となりました。

あと250日 両津駅伝競走大会

両津
10月3日(日)、両津地区で第28回両津駅伝競走大会が行われました。この大会は市民の体力の向上を図るために催され、今年も姉妹都市である入間市を加え、総勢94チームの参加がありました。

一般男子及び中学男子は黒瀬～湊間18.1kmを5人で、一般社年及び一般女子、中学女子は和木～湊間10.3kmを4人で、その順位を争いました。

その結果、一般男子は両津高校、一般女子は両津クラブ、中学男子は東中学校駅伝部A、中学女子は東中学校駅伝部A、一般社年の部は入間市社年Aがそれぞれ優勝しました。

今年には特に中学男子の健闘がひかり、5区間中3区間で区間新記録を出すという快車を成し遂げ、彼らの将来を楽しみに思えました。



▲一般男子・中学男子スタート